

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

Feb 2014.2
No.1024

表紙 平成26年成人式
成人のつどい



平成26年 本別町成人式・成人のつどい

晴れやかに、新成人門出



式を見守る多くの保護者

方川一郎町議会議長

高橋正夫町長

水谷令子教育委員長



交通安全宣言

おか ざき しのぶ さん



新成人誓いのことば

しとだ やすよ 志戸田 康代 さん

成人式

激励受け、努力誓う

式では、出席者全員による国歌斉唱、町民憲章朗唱の後、主催者を代表し水谷令子教育委員長が「将来の目標へ向けて自分自身の価値を高め、今日の日を新しいスタートとしてください。皆さんの若い力と行動力に期待します」とあいさつ。引き続き高橋正夫町長が「人生はこれからです。広い視野を常に持ち、世界に向けて羽ばたいてください」、方川一郎町議会議長が「いつまでも夢を持って挑戦を続け、前向きな人生を送ってください」と激励のことばを贈りました。

新成人代表による誓いのことばでは、志戸田康代さんが「既成の概念にとらわれない斬新な発想力を持つよう心掛け、マナーを身に付けた大人の仲間入りができるよう努力を続けます」と力強く語り、岡崎慎さんが飲酒運転の根絶と交通ルールの順守を誓い、「安全で快適な交通社会の実現に努めます」と交通安全を宣言。出席した新成人は、多くの保護者が見守る中、社会人としての新たな一歩を踏み出しました。



平成26年 本別町成人式 成人のつどい

晴れやかに、新成人門出

本別町成人式・成人のつどいが1月12日、中央公民館で開催され、華やかな晴れ着やスーツ姿に身を包んだ新成人63人が、友人との再会を喜び合うとともに、社会を支える一員として志を新たにしました。

成人のつどい

笑顔で乾杯!

式終了後に行われた成人のつどい(本別町青年協議会主催)に金山翔太会長は、新成人の伊藤徹哉さんによる乾杯でスタート。友人同士で晴れ姿を写真撮影する人や、近況を語り合う人などで終始にぎやかな雰囲気になりました。ビンゴゲーム大会では、特賞のお掃除ロボットを引き当てた川橋春菜さんに大きな拍手が送られ、最後は全員による万歳三唱でつどいを締めくくりました。



はい、チーズ



カンパニー



特賞を引き当てた川橋春菜さん



20歳の誓い



伊藤 徹哉 さん

成人になって

この度、私たちは成人式という人生における一つの節目を迎えることとなりました。今まで支えていただいた両親をはじめとする多くの方々にご場を借りて感謝を申し上げます。さて、成人となりました私たちには、これまでよりも様々な権利が与えられ、また自らの行動一つひとつにより一層大きな責任を持つことが求められます。社会人や学生といったことで立場は違いますが、それぞれが期待される役割は年々大きくなっていくことでしょう。私自身、日々の生活の中でそう思ったことを感じることは多くあり、その都度自分の役割に対して向上心とこだわりをもって臨むよう心がけています。諸懸案を抱える現在の日本ですが、私たち新成人がより良い日本社会に向けて少しでも貢献できるように、この成人式を一つの契機としてこれからも力を尽くしていきたいと思っております。



水野 亜紀穂 さん

新成人になって

この度、無事に成人を迎えることができ大変嬉しく思います。二年前に本別高校を卒業してから、すでに社会人として立派に働いている人や、自分のなりたい職業を目指して学業に専念している人など立場は様々ですが、成人を迎えた今日、自分はもう社会人の一員だという自覚を持ち、責任ある行動をとっていかねばなりません。

私は幼稚園の頃から本別町で育ち、高校を卒業するまでにたくさん大切な仲間に出会うことができました。今は一人暮らしをはじめ、新しい友人もたくさんできましたが、やはりこの本別町で小学校から一緒に成長してきた友人に会うととても心が安らぎます。そして、この二十年間大切に育ててくれた両親に感謝の気持ちでいっぱいです。これから、できる限りの恩返しをしていけたらと思います。春から神奈川県横浜市で就職をします。生まれ育った北海道を離れるのは少し寂しいですが、一人前になっていつか本別町に戻ってきます。それまで両親には温かく見守っていてほしいです。まだまだ迷惑をかけるかもしれませんがこれからもよろしくお願ひします。

本青協50周年

かつては本青協が唯一の楽しみだった
自分の車などあまりない時代、
みんなバイクや列車、バスに乗って集まった

本別町青年協議会の結成は、昭和39年2月27日。以来、今年で50年となります。同会10周年記念誌によると、結成前は各地区の青年団による本別町連合青年団が、体育、演芸会、産業活動、奉仕活動を中心に行っていて、本別町青少年クラブ連絡協議会が（注）4日活動を主な活動内容とする団体でした。これら2つの他に青年学級、ラジオ農学校があり、それぞれ一般教養や現地学習、レクリエーション等を展開していました。それら団体を一つにまとめた本別町青年団体連絡協議会があり、技術交換大会、冬期研修会、実績発表会、キャンプ等の事業を行っていました。青年はこの4つのうちどれかに加入していましたが、3分の2は一人で2つの団体に加入し、一人で4つ全部に入っている人もいたようです。各団体が研修会、視察旅行等の同じようなことを同じような時期に行っていたため、なんとかもつと強力で最もスムーズに活動できる団体を、との機運が盛り上がり、昭和38年に準備委員会が発足しました。



昭和43年9月、62人が参加した研修旅行（大雪青年の家にて）

統一への道のりは容易ではなく、各関係機関との意見の調整、試案を持つて理解を求めるため各地区に何度も足を運ぶ必要がありました。それを苦勞とも感じず、

逆に先輩達が従来の団体に築き上げたものがなくなることを思うとちよつと複雑な心境だったと10周年記念誌には記されています。多くの課題を解決し、設立総会には200人ほどの青年が集い、盛大に挙行されました。

（注）4日活動＝4Hとは、農業の改良と生活の改善に役立つ腕（Hands）を磨き、科学的に物を考えることのできる頭（Head）の訓練をし、誠実で友情に富む心（Heart）を培い、楽しく暮らし、元気で働くための健康（Health）を増進させること、4つの信条の頭文字を総称したものです。



これまで発行された記念誌

50周年記念誌を発行します

（平成26年3月末発行予定）

- 本別町青年協議会の主な活動
- 定期総会
 - 通学路ごみ拾い・スポーツ交流会
 - 子ども七夕まつり手伝い
 - いきいきほんべつふれあい祭り参加
 - 成人のつどい（事業企画運営）
 - 管外視察研修

一緒に活動しませんか？

かつては300人に迫る会員数を誇った本別町青年協議会ですが、10周年記念誌を発行した今から40年前の昭和48年当時ですら、「私たちを取り巻く環境は急速に変わってきている。私たちのころの楽しみといえば青年活動ぐらいしかなかったので…（中略）…が、今は一人一人の好みに応じ自分の求めるものを追及してける時代だ。そんな中で青年活動を進めることはやはり大変なことなのだろう」と今に通じる悩みが語られ、「やはり、皆が集い、希望や不安を語り、何かを行って行く、作り上げていく場は必要なのだ。今後もおそらくはいろいろな問題につきあたることだろうと思うが、くじけず前進してほしい。いろいろな経験を積み重ね、充実しながら20周年、30周年の歴史を築き上げてほしいものと祈ります」と今の私たちへのメッセージが贈られています。

現在、本別町青年協議会は、先輩から贈られた言葉を胸に数々の事業を展開しております。1月12日に開催された「本別町成人式」終了後の「成人のつどい」でも企画運営をし、華やかに人生の門出を迎えた新成人の皆さんを祝っています。

今後も本別町の青年活動は続きます。これまでの道のりは多くの人々の支えの賜物であり、ひたすら感謝する次第です。また、これからも本別町青年協議会を今までも増して温かく、



金山翔太会長

時には厳しく見守っていただきたいと思います。

われわれ本別町青年協議会は、地域において青年でしか果たしえない役割が存在すると考えています。

ぜひ一緒に活動しませんか？参加をお待ちしています。

本別町青年協議会は 会員を大募集しています

申し込みおよび問い合わせ

本別町教育委員会
社会教育課社会教育担当
（中央公民館内）

☎ 22-5111

Eメール koumink2@town.honbetsu.hokkaido.jp

特別支援学校誘致へ 12/26

特別支援学校高等部誘致を目指す、特別支援教育を支える会設立会議が12月26日、町体育館で開かれました。これは、道教委が十勝管内で既存学校施設を活用し特別支援学校設置を検討していることを受けた取り組みで、会議には仙美里元町自治会や教育関係機関、町特別支援教育振興会など9団体から10人が出席。中野博文教育長が、同会設立の経過と趣旨について説明した後、同会会長に仙美里元町自治会長の佐藤秋雄さんを選出しました。佐藤会長は、「仙美里中学校に新たな息吹を吹き込められるように、力を合わせて頑張りましょう」とあいさつ。会では、今年3月末で閉校を迎える仙美里中学校を候補に挙げ、情報収集や陳情行動を進めていきます。



金管の重厚な音色で 観客を魅了 12/22

札幌大谷大学音楽学部で金管楽器を専攻する5人で構成されたF5（代表＝前田海風、4年生）による金管五重奏演奏会が12月22日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開かれました。この演奏会は、代表の前田さんが本別出身だったことがきっかけで開催されたもので、5人の演奏者は、2部構成のステージでトランペットやホルンなど4つの楽器を使いクラシックやクリスマスソングなどを演奏。会場内には、金管楽器の重厚な音色が響き渡り、会場を訪れた23人の観客を魅了しました。



剣道初稽古で汗 1/1

毎年恒例の本別剣道連盟（鈴木清志会長）主催による元旦稽古会が1月1日、町柔剣道場で実施されました。鈴木会長が、「今年一年、自分にとって良い年であるように元気で頑張りましょう」とあいさつした後、小学生から一般までの15人が、引き締まった空気の中、約1時間の初稽古に汗を流しました。



友好の絆を 深める交流 12/24~26

友好都市の徳島県小松島市から立江小学校の児童18人（6年生9人、5年生9人）と引率者6人が、12月24日から26日まで、交流研修のため本町を訪れました。24日に役場を表敬訪問した一行は、25日に熱気球やスノーモービルを試乗したほか、勇足小学校（曾根広至校長、43人）でのスケート体験など、北海道の冬のレジャーを満喫。同校では、児童のほか保護者も一緒に交流し、世代を超えて立江と勇足の絆を深めました。



各学校の手作りページ

HELLO 本別高等学校



2年生
見学旅行に行ってきました!

1年生
宿泊研修

未来への 架け橋 夢実現! 本別高校

本高から夢実現の旅に出よう!



授業参観

いじめ防止講話

各種行事の様子です

入学式

普通救命講習

職場体験

野球全校応援

北海道本別高等学校
 TEL: 0156-22-2052 / 2068
 E-mail: honbetsu-z0@hokkaido-c.ed.jp

校訓 **創意実践**

ねばねばぶよぶよ“スライム”作り

115

スライム実験教室が1月15日、図書館で開かれました。参加した小学1年生から4年生21人は、本別サイエンスクラブの会員3人と本別町歴史民俗資料館友の会会員2人の指導のもと、ホウ砂という薬品や洗濯のりなどの材料を使い、ねばねばぶよぶよの物体“スライム”作りに挑戦。子供たちはそれぞれ好みの色に色づけし、スライム独特の手触りを楽しんだり、やわらかいスライムをストローで吹いて膨らませる「ふうせんスライム」、砂鉄を混ぜて磁石で動かす「動くスライム」などの実験を楽しみました。



100歳おめでとうございます 町敬老祝い金の贈呈

友二さんは大正3年1月5日に岩手県生まれ、昭和11年に親戚のいる北海道へ単身移住。仙美里の軍馬補充部で勤務したのち、戦後は本別町の職員として働き、妻の故ナカさんと3男2女のお子さんを育て、孫10人、ひ孫5人に恵まれました。友二さんが100歳を迎えられたことについて3男の瀬尾秀峰さんは「本別町民として元気で100歳を迎えられたことが1番の喜びだと思う。皆さんにお世話になり、長生きさせてもらいました」と話しました。現在は帯広市内の病院に入院中ですが、友二さんは受け取ったお祝いを手に、終始うれしそうなきさを見せてくれました。



佐藤友二さん（西仙美里）が1月5日に、水元美代子さん（錦町）が1月8日に100歳を迎えられ、1月8日に高橋正夫町長から敬老祝い金7万円と商品券3万円分が贈呈されました。

美代子さんは大正3年1月8日に大樹町生まれ、故孝夫さんと結婚を機に本別町へ。農業を営みながら2男1女のお子さんを育て、孫6人、ひ孫8人に恵まれました。平成22年から帯広市内の介護付有料老人ホームで生活しており、長男の博宣さんは「家系の中で100歳を迎えたのは母が初めて。一生懸命働き、よく食べよく飲み、よく寝ることが長生きの秘訣では」と話しました。現在は施設職員の手助けを受けながら、食事をよく食べ、大きな病気もなく毎日を過ごしています。



防災の決意新たに

116

本別消防団（遠藤利之団長）各分団出初式が1月5日、6日に実施されました。6日午後2時のサイレンを合図に行われた第1分団（木下登夫分団長、35人）の出初式では、遠藤利之団長が「我々消防団の役目は、防災の要として地域の安全安心を守ること。分団長を中心にその活動にまい進してください」と訓示を述べ、団員らは防災の決意を新たにしました。引き続き団員らは、同署北側町道を、消防車両など7台と共に分列行進しました。



本別中剣道部 道内中学校の模範校に

112

本別中学校剣道部（野崎将秀主将）が1月12日、千歳市で開かれた第14回北海道中学校新人剣道大会に出場し、男子出場45校の中から2校のみ選ばれる「礼節賞」を受賞しました。この賞は、大会を通して礼儀や試合態度など、他校の模範となるチームに贈られるもので、受賞は平成23年第11回大会以来2度目。2度の受賞は十勝の男子チームとしては、初の快挙となりました。



真剣勝負を展開

119

本別町子ども会育成連絡協議会（久能利幸会長）主催による第20回子ども百人一首大会、第39回子ども将棋大会が1月9日、中央公民館で開催されました。百人一首大会には町内の小中学生4チーム13人が参加。子供たちは、読み上げられた句の札を真剣な表情で探し、見つけたと同時に素早い動きで取り合いました。将棋大会には小学生3人と中学生1人が参加し、指導者のアドバイスを受けながら対局。静まり返った室内には、駒を置く音が響いていました。



情報を広報電算担当へお尋ねください ☎011-8121

詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
☎011-8121

国民年金保険料前納額と割引額

納付方法	納付期間	前納額	割引額
口座振替	2年前納【新設】	346,600円	14,360円
	1年前納	176,700円	3,780円
	6か月前納	89,210円	1,030円
	1か月前納(早割)	14,990円	50円
現金納付	1年前納	177,280円	3,200円
	6か月前納	89,510円	730円

※平成25年度1か月の保険料は、15,040円（180,480円/年）です
 ※この表の前納額および割引額は平成25年度の国民年金保険料を基にしています。平成26年度の保険料額は2月下旬に確定する予定です

【帯広年金事務所】
 〒080-8558
 帯広市西1条南1丁目

または帯広年金事務所へ提出（郵送も可）してください。

※「国民年金保険料口座振替（変更）申出書」は役場住民課戸籍年金担当窓口にあります

※口座振替のお申し込みには、基礎年金番号の記入が必要ですので、年金手帳や納付書で基礎年金番号をご確認ください。また、金融機関届出印の押印が必要となります



平成26年4月から
国民年金保険料の「2年前納」が始まります

国民年金には、保険料をまとめて前払いすると割引になる前納制度があります。前納の期間が長いほど割引額が大きくなります。これまで前納できる期間は最大で1年間でしたが、平成26年4月から、2年度分の保険料を口座振替でまとめて納める「2年前納」が始まります。

保険料は、現金で毎月納付する場合と比べ、2年間で約14,000円の割引となりお得です。また2年前納分の全額がその年の社会保険料控除の対象となります。

「2年前納」の手続き

① 申込期限 平成26年2月末日
 ② 申込方法 「国民年金保険料口座振替（変更）申出書」に必要事項をご記入の上、金融機関（郵便局を含む）の窓口、

国民年金
 コーナー

その142

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんのお愛に包まれてすくすく元気に育ってね!



勇足東4
山下 瑚杏 (千明ママ)



新町
原 詩織 (博美ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

第2回 農業塾

116

第2回本別町農業塾(町営農指導対策協議会主催)が1月16日、砂原会計事務所(北3丁目)の砂原政広所長を講師に、「知らないと損する!農家の税金と資金繰り」と題し、中央公民館で開催されました。砂原さんは、税金の申告方法として青色申告のメリットなどを強調し、有効活用と節税を呼び掛けたほか、農地の有利な譲渡方法についても解説。最後に、記帳に必要な資料の整理と保存を心掛けるとともに、決算書は、税金申告のためだけではなく、経営にも生かしてほしいと述べました。参加した若手農業後継者など26人は、農業経営における会計管理の重要性を再認識しました。



ご寄付ありがとうございます

平成25年12月26日から平成26年1月23日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町老人ホーム指定
タオル100本 美蘭別 井原伸治
タオル100本 匿名
- ★本別町特別養護老人ホーム物品購入費指定
金50,000円 匿名
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
- ★自然との共存・環境保全推進事業
金100,000円 匿名
- ★福祉でまちづくり推進事業
金50,000円 匿名

- 金150,000円 帯広市 山下琢也 (内訳)
- ★福祉でまちづくり推進事業 金30,000円
- ★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業 金30,000円
- ★自然との共存・環境保全推進事業 金30,000円
- ★資料館特別展示「わが町の七月十五日展」開催事業 金30,000円
- ★本のまち・夢プラン事業 金30,000円
- 金50,000円 東京本別会 会長 新津悦男 (内訳)
- ★福祉でまちづくり推進事業 金10,000円
- ★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業 金10,000円
- ★自然との共存・環境保全推進事業 金10,000円
- ★資料館特別展示「わが町の七月十五日展」開催事業 金10,000円
- ★本のまち・夢プラン事業 金10,000円

みんなの健康 354



サルコペニアとは加齢に伴い筋肉量が減少し、筋力が低下した状態にあることです。近年、高齢者の転倒・骨折や寝たきりの原因にサルコペニアが関係しているといわれています。とで注目されています。成人の筋肉量は20歳を過ぎると徐々に減少が始まり、50-80歳までに約40%の筋肉量が減ってしまうといわれています。

サルコペニアとは?

す。特に足の筋肉量の減少が大きいので、転倒しやすくなっています。サルコペニアの予防には、運動と栄養が重要です。特に高齢者のサルコペニアでは、たんぱく質の摂取量が不十分であることが原因のひとつと考えられています。筋肉を作るにはたんぱく質が必要で、食事から十分な量を摂ることが大切です。たんぱく質は肉や魚、卵や大豆製品などに多く含まれています。毎回の食事にたんぱく質を摂りましょう。また、食事全体のエネルギー量が足りないとなれば、たんぱく質が使われるはずのたんぱく質がエネルギー合成に使われてしまいます。主食(ごはん・パン・麺など)、主菜(肉・魚・卵・大豆製品など)、副菜(野菜など)のそろったバランスの良い食事でサルコペニアを予防しましょう。

本別町特別養護老人ホーム
管理栄養士 新津佐知子

銀河ホップランド

足寄町

「春告げの蕾」好評販売中

JAあしよろが企画し、秋田県醸造工業が製造した、螺湾ブキのフキノトウを原料に使った焼酎「春告げの蕾」がAコープあしよろ店で好評販売中です。足寄町特産の爽やかな螺湾ブキの香りと、まるやかさが特徴です。本年度限定2000本となっております。ぜひご賞味ください。



□価格 1本 1800円 (720ミリリットル)
□販売場所 Aコープあしよろ店
□問い合わせ Aコープあしよろ店
☎2514321

陸別町

「りくべつ」まちチョコ」好評販売中

陸別町の魅力のパッケージで伝える、「りくべつ」まちチョコ」が冬期間限定で好評販売中です。極上の口どけと8種類の味をぜひご賞味ください。

- 価格 1枚 300円
- 種類 ミルク、ホワイトクリスピー、シナモン、オレンジ、レーズン&カシューナッツ、ハーゼルナッツ、ビター、ビターレモンピール
- 販売場所 陸別町観光物産館(道の駅内)、町内各商店
- 問い合わせ 陸別町観光物産館 ☎2712012



本のある暮らし

155

戸籍のまど

お誕生

12月後半から
1月前半の
届出分

今野美咲^{みさき} 大吾^{おおご} 12/18 上押帯
山田桔平^{きつぺい} 正平^{しょうへい} 12/22 押帯
千田壮磨^{そうま} 信二^{のぶじ} 12/23 新町
遠藤綺乃^{あやの} 史康^{しこう} 1/4 美蘭別
川口奏太^{かなた} 正英^{しょうえい} 1/4 中央小学校

ご結婚

(水野正樹^{みずの まさき} 向陽町
新谷紗有美^{あらたに さゆみ} 幕別町
佐々木 修^{ささき しゅう} 仙美里ヶ丘
鈴木磨奈子^{すずき ななこ} 札幌市
河野 司^{かほの じ} 勇足元町
山田麻由^{やまの まゆ} 白糠町

おくやみ

岡本光雄^{おかもと ひろお} 89歳 12/23 押帯
森田秋雄^{もりた あきお} 79歳 12/26 仙美里2
山田辰雄^{やまの たけお} 96歳 12/26 柏木町
井出英人^{いで ひろひと} 92歳 12/27 新町
川崎規矩雄^{かわさき きちお} 93歳 12/28 北3丁目
増子ヨシコ^{まこしよ} 91歳 12/28 南2丁目
山村喜隆^{やまむら きのり} 82歳 1/7 負籠1
松井シズエ^{まつい しずえ} 98歳 1/9 新町
越野泰左^{のりお たいざ} 88歳 1/9 北5丁目
森キミ^{もり きみ} 90歳 1/10 向陽町
角一夫^{かく いちお} 96歳 1/12 北2丁目
相良一^{あいら いち} 89歳 1/14 新町

わたしたちのまち

前月比

人口 7,914人(-2)

男 3,891人(±0)

女 4,023人(-2)

世帯数 3,788戸(-1)

〔12月末日住民基本台帳〕

もっと、本、読もう!

~2014若い人に贈る読書のすすめ~



成人の日、卒業、進学、就職…若い人たちが新たなステップを迎える季節です。

心も頭も柔軟で、感性がどんどん磨かれていく若いときに「多くの本と出会ってほしい」「読書の楽しさを知って人生を豊かにしてほしい」と願って、おすすめの本を選びました。

話題の小説をはじめ、仕事や人生を考えてみたくなる本、すぐに役に立つことばの本など、ぜひ読んでもらいたい10冊。

手にとってページをめくってみましょう!そこからきっと新しい世界が始まります。

本別町図書館が選んだ10冊

- ★何者 著者/朝井リョウ
- ★神去なあなあ夜話 著者/三浦しをん
- ★色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年 著者/村上春樹
- ★想像ラジオ 著者/いとうせいこう
- ★心 著者/姜尚中
- ★野心のすすめ 著者/林真理子
- ★人間にとって成熟とは何か 著者/曾野綾子
- ★伝え方が9割 著者/佐々木圭一
- ★かあちゃん取扱説明書 著者/いとうみく
- ★ぼくは、図書館がすき 著者/漆原宏



私たちのおすすめ!
出演:本別ボランティアクラブ
かめの皆さん

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112